

 <h1>船穂中つれづれ</h1>	令和7年度学校通信 令和7年11月17日 第25号	
学校教育目標：変化していく社会に対応できる、心豊かな主体性のある生徒の育成を図る 令和7年度重点目標：主体的な学習「わかった」「できた」「やってみよう！」＜授業改善＞ 自己肯定感の向上 「船穂大好き・人大好き」＜探究学習＞		船穂中HP



～自由参観日・人権教育講演会～



11月10日(月)は、自由参観日でした。多くの保護者の皆様に授業の様子をご覧いただきました。ありがとうございました。時間を指定しない自由参観日だったので、授業の様子はもちろんのこと、休み時間の様子などもご覧いただけだと思います。

午後は、PTA 人権教育講演会でした。今年は、南極越冬隊を体験された 松本 巧也 様にお越しいただき、お話を伺いました。松本さんは、一昨年の11月に日本を出発して南極に渡り、今年の2月に日本に帰国された方です。南極での暮らしや仕事についてのお話に加え、人と人が寄り添うことの大切さや、仲間との絆についても語ってくださいました。

お話の途中で、越冬隊の服を着た笹井先生が登場したり、南極の風体験で金光先生が登場したり、また、休憩時には、南極越冬隊員の服を着用させてもらう体験があったりと、楽しく、実りある講演会となりました。松本さんからは、「今まで講演した中で、船穂中の生徒が一番よく話を聞いてくれましたと、うれしいお言葉をいただきました。



【生徒の感想から】

〇当たり前を当たり前と思わないことが大切だと思いました。おいしいご飯が食べられて元気に生活できるのは、誰かの努力があるからだということを知りました。これからは感謝の気持ちをもって生活していきたいと思いました。そして、一人ではできないこともみんなで協力すればできるようになる、というお話から、クラスメイトと協力していきたいと思いました。(3年生)



〇私が一番心に残ったことは、「当たり前じゃない」ということです。私も当たり前じゃないことに気づかせてもらい、ありがとうという気持ちになったことがあったと思い出すことができました。また「うまいかない、と、思ったところすでにチャレンジしている！」という文章が心に刺さりました。ありがとうございました。(2年生)

〇南極での貴重なお話をきいてとても心が躍りました。白夜、ペンギン、昭和基地のことなど、こんな話を聞く機会はなかなかないので、とても良かったです。最後、越冬隊の方々からのメッセージもとても心に残りました。(1年生)

みんなの知的好奇心が膨らむ時間となりました。今日のお話を聞いた生徒の中から、南極に行き探査に携わる人がでたら、素晴らしいなと思います！